

KOYORI

KOYORI JAPAN LAUNCH EXHIBITION

日本発のグローバルアライアンスブランド KOYORI

グローバルローンチを経て日本デビューを記念したエキシビションを開催！

会期：2022年10月28日（金）～30日（日） | 会場：アクシスギャラリー（六本木）

プロダクトデザイン：ロナン&エルワン・ブルレック、ガムフラテージ

飛驒産業と天童木工がものづくりに参加したチェアをローンチ



2022年6月ミラノでの展示風景 Photography: ALBERTO PARISE

日本のものづくりの力を結集させた全く新しいグローバルアライアンスブランド、KOYORI（コヨリ）は、2022年6月、ミラノデザインウィーク期間中、「デザインミュージアム トリエンナーレ・ミラノ」にてグローバルローンチをしました。

いよいよ、この秋、日本での展開がスタートします。日本デビューを記念し、2022年10月28日（金）～30日（日）、AXIS GALLERYにてエキシビションを開催します。

ファーストコレクションとして、パリを拠点に活躍する兄弟デュオ、ロナン&エルワン・ブルレック（Ronan & Erwan Bouroullec）とコペンハーゲンを拠点に活躍するデュオ、ガムフラテージ（GamFratesi）が5モデルの木製チェアをデザインしました。

製作は、無垢の曲木家具を得意とする飛驒産業、成形合板を得意とする天童木工という、卓越した技術と歴史ある家具メーカー2社がKOYORIのものづくりに参加しています。

「KOYORI JAPAN LAUNCH EXHIBITION」開催概要

会期：2022年10月28日（金）～30日（日）11:00 - 19:00（最終日のみ18:00まで）

会場：AXIS GALLERY / 〒106-0032 東京都港区六本木5-17-1 AXISビル4F

入場料無料 / 事前予約不要

ロナン&エルワン・ブルレックによる新作チェア（3モデル）

「我々が目指したのは各メーカーの技術を十分に活かした集合知プロジェクトです。木の匠である職人のエッセンスをデザインに取り入れることを試みました」
 —ロナン・ブルレック

ブルレックは、KOYORIプロジェクトは革新的であるとともに、アライアンスメーカーの価値や特別な技術力を最大限に表現することが目的だったと話します。



Kawara アームチェア

オーク4色展開、板座または張座

メーカー：天童木工

成形合板を使った椅子で、シンプルな佇まいでありながら、新しさを感じられるデザインです。背と肘と座の3次元的な曲面が特徴的な椅子で、やわらかな曲面は美しく、座り心地を高めるとともに強度や安定性にも寄与しています。魅力的で心地の良い椅子は、食事をしたり、会議をしたり、長い時間座ることが必要な時にも重宝いただけます。

「大きな箱のような非常に柔らかい殻の中に包み込まれる心地よさを持ったダイニングチェアです。食卓や会議テーブルの周りに置くと存在感があり、多様なフレーム色や皮革・布地の張座も選択可能です」

—ロナン・ブルレック



Musubi アームチェア

ホワイトオーク・ナチュラル/ビーチ・ブラック

メーカー：飛驒産業

柔らかな量感と有機的な形状をした背と肘は、結んだような接合部が特徴で、高い精度により強度を保持しています。彫刻のように削り出された部材は、身体をやさしく支える曲線を描いており、掛け心地の良さも生み出しています。背板には材料の口スが少ない曲木が用いられ、継ぎ目のない木目が美しい表情と強度をもたらしています。

「椅子がもつ美的そして感性的な価値観を表現し、座る時だけではなく、触れた時に心地よいと思えるような椅子を目指しました」

—ロナン・ブルレック



Shaku チェア

ビーチ・ブラック

メーカー：飛驒産業

小ぶりでありながらも高めの背もたれと、背と座につけられたカーブが座り心地を快適なものにしています。

背板が座板に差し込まれたような造形表現は、緻密で精度の高い加工と接合技術により実現しました。

「とても温かく、綺麗でシンプルなこの椅子はある意味椅子の歴史を物語るような椅子です。何世紀も昔に存在したかのようで、しかしながらこの椅子は更に精緻で明確です」

—ロナン・ブルレック

ガムフラテージによる新作チェア（2モデル）

「KOYORIは日本のストーリーを伝えるブランドです。KOYORI商品はそれぞれが『章』であり、ひとつひとつ違うストーリーを伝えていきます。KOYORI商品のクラフツマンシップから醸し出される尊厳や情熱そして品質を、人々が日常的に感じてくれたら嬉しく思います」ーガムフラテージ

ガムフラテージにとってKOYORIとのものづくりは、木が持つ可能性をより広く、そして実直に表現する機会になりました。“Miau アームチェア”と“Edaha チェア”は美しい商品であるとともに、ガムフラテージのルーツの一つでもあるデンマークの伝統やデザインを再解釈したとも言えます。

Miau アームチェア

ホホワイトオーク・ナチュラルまたはウォールナット・ナチュラル、板座または張座
メーカー：飛驒産業



肘から背もたれ、そしてまた肘へとつながる部材は、1本曲木で加工しています。接合箇所がないため、スツと木目が繋がって美しく、板から切り出したものと比べて強度が得られます。背板は、曲木をした後に背当たりが良くなるようさらに削り出し、板座はお尻の形状に合わせて3次元に切削することにより座り心地の良さを実現しました。

「猫のようなモチーフを取り入れることで、人間的な温かさをもつ優しいデザインにしました。繊細なディテールが散りばめられていて、特にアームの部分は思わず触りたくなるような、そして木そのものの素材の美しさを再発見できるようなディテールになっています」

ーガムフラテージ

Edaha チェア

オーク・ナチュラルまたはウォールナット・ナチュラル、板座または張座 *発売時期未定
メーカー：天童木工



ガムフラテージは日常的に自然のモチーフを参考にしたり、インスピレーションを得ています。Edaha チェアは、その名のとおりまるで枝の上に葉がそっと置かれたような構造をしています。

「枝部分（構造）そして葉部分（座面）はこの椅子の核となる要素でした。まるで枝の上に葉が置かれたように、構造が座面をやさしく支えるような形を目指しました。全てが成形合板で出来ていますが、それぞれの部分が異なる加工技術によって作られているので、工業的でありながらも木が持つ自然な美しさを十分に表現したナチュラルな椅子になっています」

ーガムフラテージ

All photography: HIROSHI IWASAKI

関係者プロフィール

Ronan & Erwan Bouroullec (ロナン&エルワン・ブルレック)



1971年と1976年にそれぞれカンペール（ブルターニュ）で生まれたフランス人の兄弟デザイナー、ロナンとエルワン・ブルレックは、1999年から協働しています。工業デザインから工芸品、大規模な生産開発から研究、オブジェクトから公共スペースまで、ロナンとエルワンの作品は複数の表現分野にまたがり、私たちの日常生活に取り入れられています。

Photography: Alexandre Tabaste

GamFratesi (ガムフラテージ)



ガムフラテージスタジオは、デンマークの建築家スティーネ・ガム（Stine Gam）とイタリアの建築エンリコ・フラテージ（Enrico Fratesi）によって2006年に設立されました。スタジオはコペンハーゲンを拠点としています。ガムフラテージのデザインは、伝統とリニューアルの融合から、素材と技術への実験的なアプローチで創造力を発揮します。

Photography: Petra Kleis

神田宗俊 (こうだむねとし)



KOYORIのエグゼクティブ・ディレクター。

国際貿易とブランディングのエキスパートとして、国産ブランドの販売拡大や展開に従事し、日本のクラフツマンシップの世界的な普及活動に貢献してきました。知識と経験により、日本のメーカーの販売網を30の国と地域、60店舗に拡大した経験があります。日本の職人技を世界規模で継続的に推進することを目指しています。

「ものに宿るシンプルで繊細な美しさを伝えると同時に、各商品の背景にある職人の技に対するひたむきさや、情熱、献身的な勤勉さや配慮の精神、そして商品を唯一無二の作品にする完璧主義性といった日本のものづくりの真髄を世界中に伝えていきたい、そんな想いをKOYORIは持っています」

ーKOYORIエグゼクティブ・ディレクター、神田 宗俊 (こうだむねとし)

KOYORI <https://www.koyori-jp.com>

KOYORIは日本全国の優れたものづくりを行う企業とそのものづくりを世界に伝える力を持つ企業がアライアンスを組むとともに、卓越した日本の製造技術と国際的なコンテンポラリーデザイナーが協働することで、確かな品質を備えたボーダレスなデザインの家具とインテリアアクセサリーを提供することを目指したブランドです。日本語の「紙漉（こより）」から取ったブランド名のKOYORI。紙漉は古くから日本での祝い事に欠かせない水引の素材であり、ブランド名には結びつきの意味も込められています。

サステナビリティ

KOYORIは、グローバルブランドとして、サステナブルであることを目指しています。日本の職人技の美しさ、創造性、真正さを継承し、それを国際市場に伝えていくため永く使っていただける商品を創り続けることに加えて、私たちは生産と配送のプロセスが持続可能であることを保証し、透明性を大切にするリーディングブランドになります。最初のステップとして、カーボンフットプリントの透明性を確立するために、商品を製作する過程で排出されたカーボンフットプリントを測定し、その結果をWebサイトに公開します。次のステップ以降も、製品ライフサイクル全体で二酸化炭素排出量を削減するために毎年新たな課題を立て、解決に向けて継続的に取り組み、一歩ずつ進んでいきます。

“デザインミュージアム トリエナーレ・ミラノ” での展示風景 (2022年6月)

スタンドデザインはガムフラテージが担当し、暖簾を思わせる布のインスタレーションで日本の美を尊重しながら、繊細で詩的な空間を演出。軽やかな布が風になびく様子や程よく囲まれた空間が訪問者を歓迎しました。また、展示では椅子に合わせたテーブルも製品化を前に初披露し、コレクションに豊かさを加えました。



Photography: ALBERTO PARISE

プレスお問合せ先：HOW INC.
MAIL：pressrelease@how-pr.co.jp
TEL：03-5414-6405

読者お問合せ先：KOYORI
MAIL：info@koyori-jp.com
TEL：03-6427-1505